

## 6. 検討に当たっての論点(案)

### I. 問題意識

- サービス産業など生産性の低い産業分野では、ICT利用が、企業内の部門単位にとどまっているのではないか？
- 企業・業種・業界を超えて利用できるICTの共通基盤を整備していくためには、いかなる施策を講じることが有効か？
- ICTへの投資余力のない中小企業において、ICTの利活用を促進していくためには、いかなる施策を講じることが有効か？

### II. 総合的なコード体系の整備

- 企業・業種・業界を超えて利用できる共通基盤の1つとして、企業コード、商品コード、空間コードの整備が挙げられるが、これまでのところ、その利用は、特定の業界や商品受発注に限定されており、業種・業界横断的な利用には至っていない。これまでの取組みや既存のコード体系を活かしつつ、総合的なコード体系を発展的に整備していくためには、いかなる施策を講じることが有効か？
- これまでに様々なコード体系が整備されているが、異なるコードの意味内容をコンピュータシステム間で自動的に共有し処理できる仕組みにはなっておらず、コードの意味を「人」が読み、判断することで対応付けが行われている。こうした状況をどのように克服していくべきか？
- 事業所の住所の変更、社名の変更、商品の属性の変更等に応じて、コードに乗せる情報も適時に更新されることが求められる。このように適時に情報を更新する仕組みをどのように担保していくべきか？
- 総合的なコード体系を普及させていくためには、その整備によって、どのようなメリットがあるのかを可視化していくことが有効と考えられる。総合的なコード体系の整備に伴うメリットの可視化、更に言えば総合的なコード体系の「成功の像」をどのように描くべきか？
- 総合的なコード体系をどのような主体が整備し、維持・更新していくべきか？

### III. ネットワークの特性を活かした電子タグの利用環境の整備

- 生産性を向上させるツールとして、電子タグの利用が挙げられるが、これまでのところ、その利用は、企業の特定業務や、実証実験を通じた活用方策の検討に限定されており、業種・業界横断的な利用には至っていない。ネットワークの特性を活かし、業種・業界横断的な電子タグの利用環境を整備していくためには、どのような施策を講じていくべきか？

### IV. ASP・SaaSの普及促進

- サービス産業の革新や中小企業の底上げ支援を推進していく手段として、ASP・SaaSを活用することが考えられるが、その普及を促進するために、いかなる施策を講じることが有効か？

### V. その他

- ICTにより我が国経済の生産性を向上させていくために、総合的なコード体系の整備、電子タグの利用環境整備、ASP・SaaSの普及促進についての施策のロードマップをどのように描くべきか？